

団結し「伝統を守る」



特大サイズの書道に挑戦する児童

児童は近くの観音寺の五十木晃健住職から「墨をつけすぎない」「ためらわずに書く」

沼田池田小（吉野正孝校長）の6年生30人が9日、書き初め会で特大サイズの書道に挑戦した。大きな筆で1画ずつ交代しながら、縦5尺、横3尺の和紙に「伝統を守る」と書き上げた。

とアドバイスを受けながら、両手でにぎった筆を勢いよく走らせていた。

最後の「る」の文字が書き終わると、児童一人一人が自分の名前を書き入れて作品を仕上げた。今月中旬に開く校内書写展で展示する。

「伝」の1画目を書いた生方篤月君(12)は「緊張したけど、思ったよりうまくできた。みんなと協力して良い思い出になった」と話していた。

同校は年初に全校で書き初めの授業をしている。ことしは6年生

の団結と思い出づくりや地域ボランティアの協力で初めて特大サイズを企画した